



皆さまの参画, 御来場, ありがとうございました!

ワークショップ「ゴーゴーバイオマス2009 in Tsukuba」 (平成21年度農業農村工学会・大会併設行事)

<http://www.sakura.cc.tsukuba.ac.jp/~eeeforum/>

日時: 2009年8月5日 12:55~17:00

場所: 筑波大学 大学会館 (講堂)

主催: 筑波研究学園都市交流協議会「つくば3Eフォーラム」委員会

ナビゲータ: 柚山義人 (農研機構), 秦 三和子 (エックス都市研究所), 岩渕裕子 (国立環境研究所)

<プログラム>

(プロローグ)

- 自主製作映画上映 (シネマ・アダルトWS2008冬の作品「非常口」)
- 開会宣言
- ディベート (問題設定: どのような方式で温暖化対策を行うか)
- 夢の朗読 (その1)
- 「ゴーゴーバイオマス」 (バイオマスの歌)

(第1部)

- ディベート (立論, 反論)
- 科学部の活動紹介 (竹園東中学校)
- 環境班の活動紹介と提言 (竹園高等学校保健委員会環境班)
- 「環境かるた」制作にまつわるお話 (竹園高等学校卒業生)
- 花壇づくりについて (竹園1-B子ども会)
- つくば環境スタイル行動計画について (つくば市)
- 活動紹介と提言 (つくば・市民ネットワーク)
- 活動紹介と提言 (3Ecafe プロジェクトチーム)
- 大型紙芝居「こんにちは, しおちゃん」 (竹園東中学校・学校支援ボランティア)
- 極圏の世界より (国立環境研究所)
- 夢の朗読 (その2)

(休憩) 自主製作映画上映 (つくちゅうシネマWS2007夏の作品「夏色の詩」)

(第2部)

- ディベート (フリートークその1)

- つくば3Eフォーラムの挑戦（つくば3Eフォーラム議長）
- Luci Yokosukaのサイバーワールドレポート（バーチャルキャスターLuci Yokosuka）
- 始動！つくば3Eフォーラム・バイオマスタスクフォース（農研機構）
- 田園空間分科会が描いた戦略（つくば市）
- つくば市バイオマスタウン構想をつくろう（農研機構）
- 汚泥も資源（土木研究所）
- 佐地区での「つくば方式」汚水処理（つくば市）
- 山田バイオマスプラントでの実証研究（農研機構）
- 藻類エネルギー化プロジェクト～つくば発の社会実験へ～（筑波大学）
- ナタネ・ヒマワリづくりから始まる資源循環（農研機構）
- 廃食用油からのBDF製造と利用（つくば市）
- バイオマス君を増やす全員参加のパフォーマンス
- 耕作放棄地を再生する～FOEASによる挑戦～（特別ゲスト・農研機構）
- グリーンバンク制度による耕作放棄地対策（つくば市）
- ディベート（フリートークその2，結論，判定）
- 優秀標語の発表と表彰
- メッセージとお礼（柚山）（*）
- エンディング（ゴーゴーバイオマス）

ワークショップの途中、随所にコメンテーター（谷 陽一郎さん、田上公恵さん、小泉 健さん）から意見をいただきました。ディベートへは、3Ecafe プロジェクトチームの皆さまに出場いただきました。また、「環境かるた」を実費配布しました。当日、資料を受け取って入場された方は約90名、それ以外の方を含めて、合計約120名参加のイベントになりました。標語の応募は、42作品ありました。

優秀標語の選出結果は、次のとおりです。

- ★つくば市竹園1-B子ども会：「美しい未来へ飛ぶぞ地球号 燃料もちろんバイオマス！！」
- ★九州農政局佐賀中部農地防災事業所 神室 茜：「バイオマス 地球に優しく 愛も más（増す）」
（「más」はスペイン語で「より、もっと」の意）
- ★東北農政局和賀中部農業水利事業所 市川敬一郎：「水土の知 世界を潤せ バイオマス！」

（*）主催者を代表してのメッセージとお礼

本日のワークショップは、世代協働、ボランティアで企画を練りました。様々なグループの取り組みを持ち寄り、交流・連携の輪を広げようと試みました。「出会ったからには、ほっとけない」ですよね。これから、つくば市でのバイオマス利活用をどう進めていくかの議論を活発化させ、まずは、バイオマスタウン構想を策定し、次に、小さな規模で、多くの関係機関がかかわる社会実験を行いたいと思っています。私の標語は、「人と技術と制度がつくる バイオマスにぎわう夢空間」でした。

今、2030年、あるいは2050年をターゲットに、環境、エネルギー、食料、水、経済の問題を総合的に議論しようという動きが活発です。共通するキーワードは、「持続可能性」です。2030年、2050年は、ずっと先の話のように思えます。しかし、私たちが来た道を思い起こせば、20年前、40年前は実体験のある現実の世界です。20年後、40年後も、すぐにやってきます。

私たち人類が生き続けるために、本当に必要とするものは何でしょうか。1人1日当たり、620gの酸素、

2,790gの水, 520gの食料(乾燥ベース)だと言われています。酸素, 水, 食料がどこから生み出されるかを考えると, つくばの里山, 田園空間を大切にすべきことがわかります。食とエネルギーの地産地消を進めることが温暖化対策にもなります。

「俺たちだよ。そのときは, まだ子供だったのだがね。そして, おじいちゃん, おばあちゃん, そう当時団塊の世代と呼ばれていた人たちが政治・経済界を動かし一気に流れをつくったよ。」という夢が紹介されました。意志あれば道あります。今日が, 戦略を磨き英断し実行に移す大きなきっかけになれば幸いです。

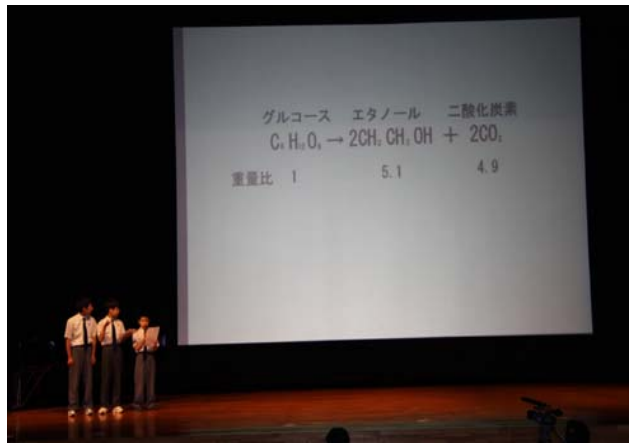
ワークショップは参加者のほとんどが出演者・スタッフです。お名前をお呼びしますので, 立ち上がって手を振っていただければと思います。

- ・竹園1-B子ども会
- ・竹園東中学校
- ・同校・学校支援ボランティア
- ・竹園高校
- ・竹高卒業生の三宅さんと奥島さん
- ・筑波大・3Ecafeプロジェクトチーム
- ・つくば・市民ネットワーク
- ・つくば市役所
- ・筑波大の井上先生, 渡邊先生
- ・土木研究所の岡本さん
- ・国立環境研究所の岩渕さん, 極圏の写真を提供してくださった中島さん
- ・エックス都市研究所の秦さん
- ・バーチャルキャスターLuci Yokosukaさん
- ・THK筑波放送協会
- ・大学会館事務室
- ・つくば3Eフォーラム事務局
- ・会場の皆さま
- ・最後に, 農研機構のメンバー

皆さま, どうもありがとうございました。



ディベートの様子(3)



竹園東中学校からの発表



竹園高校からの発表(1)



竹園高校からの発表(2)



竹園高校からの発表
(3)



環境かるた製作にまつわる話



環境かるたを語る



恩師からの一言



竹園1-B子ども会からの発表



花だんの生きものを指すお母さん



つくば環境スタイルについての説明
(市役所)



つくば・市民ネットワークから
の発表



3E cafeの山本さんによる熱い発表



竹園東中学校・学校支援ボランティアによる紙芝居



井上議長のプレゼン



井上議長、誰かに似てる。



田園空間施策の紹介(市役所)



バイオマスタスクフォースの活動紹介



岡本さんからの発表



佐地区での取り組みの発表
(市役所)



飯嶋さんからの発表



BDFについての発表(市役所)



会場の様子



コメンテータから一言



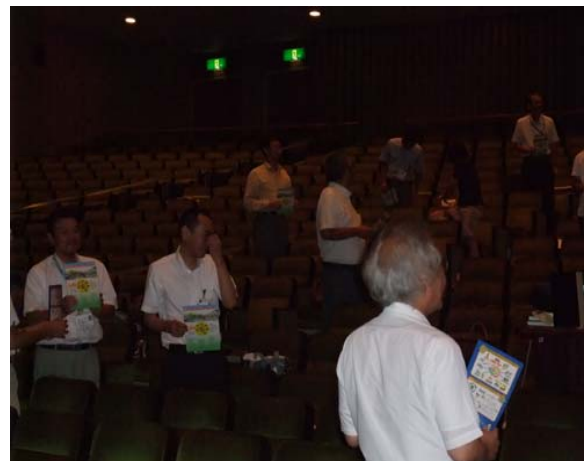
コメンテータから一言



コメンテータから一言



パフォーマンスの練習



みんなでパフォーマンス



ゲストの藤森さんからの発表



グリーンバンク制度の紹介(市役所)



やった！ぼくらの標語だ。



賞状をもらう子供たち



やったね。



さあ、整列だ！



これで決まり！



ありがとうございました。